

# ほっと連携

第30号

2018

平成30年8月24日  
発行

◆発行／北見赤十字病院地域医療連携室 北見市北6条東2丁目1番 ◆発行責任者／吉田 茂夫  
http://www.kitami.jrc.or.jp/ E-mail : renkei@kitami.jrc.or.jp

## 感謝のきもちを胸に 就任ごあいさつ

事務部長 林 裕一

4月1日付人事により北見赤十字病院事務部長を拝命いたしました林裕一と申します。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

当院は1935年(昭和10年)、北見の地に開院。病床数62床、診療科7科、職員数は63名の出発でした。以来80年余り、幾多の困難や試練がありました。

オホーツク地域の皆様方と関係機関の皆様方のあたたかいご理解とご支援により発展してまいることができました。現在の病床数は602床、診療科27科、職員数1,201名となりました。(病床数・職員数は北海道立北見病院との合計数)

本紙面を借り心からお礼申し上げます。

さて、病院を取り巻く環境は膨張を続ける社会保障費の問題や団塊の世代に代表される高齢者の増加と人口減少の問題などの影響を受け、大変厳しい状況におかれています。

これらをお心なされた医療提供体制を大きく変えるさまざまな改革は2018年から動き出しましたが、本年はまさに改革元年であり、この一、二年が医療・介護・福祉にとつての重要な分岐点になる年であるとも言われています。

医療は、一施設で完結できるものから、地域全体で提供する

時代へ変わりつつあります。

地域の方々が生み慣れた所で安心して必要な医療(高度急性期、急性期、回復期、慢性期)が受けられ、人生の最後まで自分らしい暮らしを続けられるよう介護、福祉機関なども連携を深めていくことが求められています。

その様な中、本年4月、当院は北海道から指定管理を受け、北海道立北見病院との一体運営を開始しました。オホーツク圏域における高度・専門医療の提供体制をさらに充実させ、地域完結型の医療体制構築を目的とする事業であります。地域に暮らす方々が、遠方都市の大学病院や医療機関まで出向かなくても、この地で安心して医療が受けられるようになることを意味するものでもあります。

私達が提供する医療は常に新しい知見や技術を取り入れることによって成長、発展していくものと考えます。前述させて頂きましたように当院は開院以来激動するさまざまな環境の中におきましても、変化を怖れず前進を続けてまいりました。

しかし、時が変わろうとも決して変わることなく、揺らぐことなく生き続け、これからも生き続けることがあります。それは、「人道・博愛の赤十字理念」地域の方々のお役に立てるよう「こ」という基本精神であります。

環境に影響されない強固な経営基盤を構築していくことも喫緊の課題であると認識致しております。

北海道立北見病院と北見赤十字病院が力を合わせ地域の方々の健康、安心を提供し続けられよう努めてまいります。

どうぞご支援ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。



【北海道立北見病院と北見赤十字病院をつなぐ上空通路】

## 臨床検査科が『ISO15189』認定を取得しました。



【認定授与式 東京JAB本社】  
左から、畑中検査技師長、吉田院長、JAB理事

平成30年4月24日、日本適合性認定協会(JAB)の認定委員会にて日本赤十字社 北見赤十字病院 医療技術部 臨床検査科が「ISO15189」に認定されました。

全国で145施設目の認定で、北海道では7施設目、検査センターを除く病院施設では、道内5施設目となり、道東(旭川以北、以東)で初の認定となります。

ISO15189とは、国際標準化機構(ISO: International Organization for Standardization)が設定する臨床検査室の品質と能力に関する臨床検査に特化した国際規格で、認定を取得した臨床検査室は、国際的に認められた仕組みに基づいて運営され、信頼性の高い検査結果を提供できる技術と能力が国際的な基準を満たしていることを意味します。

臨床検査科では、専任の検査医1名、病理医1名、臨床検査技師34名、

技術員2名、受付スタッフ2名の計40名にて、365日24時間体制で年間約240万件の検査を実施しております。また、全国でも先駆けて平成6年から臨床検査技師による採血業務を開始し、現在では外来入院併せて年間約9.1万人の採血を実施しております。

今回、臨床検査科では、高い品質の臨床検査を提供することで、高度で専門的な医療と救急医療を支え、地域の皆さまが安心して住み慣れた地域で生活できるような医療体制づくりに貢献したいとの思いから、平成28年5月から認定取得に向けた準備を進め、国際規格に沿った検査法への変更や1,000以上の品質に関わる文書を作成し、翌年9月JABに申請書を提出、平成30年1月22~24日の3日間の現地審査を経て、およそ2年の歳月をかけ晴れて認定取得となりました。



【検査受付】検査スタッフ

今後も、地域の皆さまに信頼され、安全・安心で質の高い医療を提供できる病院づくりのため全職員で取り組んで参ります。

ISO15189の詳細は下記URL(JAB HP)をご覧ください。

http://www.jab.or.jp

# 登録医紹介

## 松岡院長先生質問コーナー

診療科：脳神経外科・循環器内科・神経内科・  
リハビリテーション科・麻酔科・  
歯科口腔外科



### 《自己紹介》

北星記念病院では、「安心してかけられる良質な地域医療を継続して提供する」という理念のもとに、地域の皆さまに信頼され必要とされる病院、そして何より職員が自ら誇りを持って働ける病院づくりを常に目指しております。

脳神経外科、循環器内科、神経内科、リハビリテーション科、麻酔科、歯科口腔外科を主として、24時間救急受入体制を維持し、地域の各医療機関及び介護関連施設とも協力関係を築かせていただき、オホーツクの地域医療の維持と発展に貢献出来るよう職員一同、努力しております。

### 《医療連携について》

北見市は2010年から2025年にかけて生産年齢人口が8万人から2万人減り、85才以上の高齢者は2.1倍増加します。

人口変化に伴い医療需要も大きく変化するでしょう。北見赤十字病院を基幹とした地域全体で急性期、回復期や生活期、そして介護サービスまで切れ目なくサポートする体制づくりと役割分担は必要だと感じます。

今後は特にリハビリテーション科の充実を図り、回復期機能の充実により地域医療に貢献していきたいと考えております。

## 医療法人社団高翔会 北星記念病院



〒090-0837  
北見市中央三輪2丁目302番地1  
TEL(0157) 51-1234  
院長：松岡 高博  
出身大学：札幌医科大学医学部  
(昭和51年3月卒)

出身地：福岡県

《診療受付時間のご案内》

～脳神経外科～

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後1:00～5:00	×	○	×	○	○	×	×

～循環器科～ ※△休診となる場合がありますので、電話にてご確認ください

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30～12:00	○	○	○	○	○	△	×
午後1:00～5:00	○	手術	×	○	○	×	×

～神経内科～ ※【完全予約制】となっております

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30～12:00	×	○	○	○	×	×	×
午後1:00～5:00	○	×	×	○	×	×	×

～歯科口腔外科～ ※【完全予約制】となっております

	月	火	水	木	金	土	日・祝
午前8:30～12:00	○	○	○	○	○	○	×
午後1:00～5:00	○	○	×	○	○	×	×

# 赤十字フェスタ2018in北見開催!!

平成30年6月30日に赤十字フェスタ2018 in 北見が当院アトリウムと第一駐車場を会場として開催しました。

赤十字創始者「アンリー・デュナン」の誕生日である5月8日を「世界赤十字デー」と定め、日本赤十字社は、その「世界赤十字デー」がある5月に赤十字運動月間を展開しています。当院では今年6月の開催となりますが、人道的な使命を果たすことを目的とした民間組織としての活動をお伝えするイベントを展開しています。



フェスタ前日まで雨の予報でしたが、当日は清々しい晴れの天気に恵まれ、気温は30度近くまで上昇したため、駐車場のかき氷コーナーは即完売。焼き鳥コーナーも長蛇の列となり昨年以上の来場者で大いに賑わいました。今年は日本赤十字社公式マスコットキャラクターのハートラちゃんが初登場し、アンリー君との贅沢なツーショットが実現しました。本館アトリウムでは「ちびっこ看護師さん・ちびっこ救護員さん」コーナーで制服に着替えて写真撮影にたくさんの子供たちが楽しんでいました。ステージ

コーナーでは青少年赤十字加盟校の小泉中学校合唱部と南中学校器楽部による演奏、最後にドナルドショーがおこなわれ、たくさんのお客さんを楽しませてくれました。

来場者の方へ赤十字救急法などの赤十字事業の体験をして、赤十字の事を知って頂けた良い機会になりました。毎年開催しておりますので、是非ご参加ください。



【事業課】

録手帳には、体重や血圧、脈拍

【循環器内科における心不全手帳の取り組み】  
心不全による再入院を予防するためには、患者さんの自己管理と増悪した場合の早期相談・受診が大切です。

私たちは、心不全の患者様に心不全手帳を導入しています。心不全手帳は、日本心不全学会が作成したもので、心不全学会のホームページからダウンロードできます。日本心不全学会が発行する知識の提供と患者のセルフモニタリング情報の蓄積の役割を持っています。連携手帳（心不全の基礎知識のテキスト）と記録手帳（体の状態を記録する手帳）の2冊組です。記録手帳には、体重や血圧、脈拍

毎日新患外来を開いており、み、血圧高値、歩行時の下肢痛などでお困りの症例などございましたら遠慮なくいつでもご相談ください。それから、逆紹介させていただいた患者さんの症状が再発した場合、紹介状なしでも直接当科を受診できるように体制を変更しています。



# 循環器内科外来からの お知らせ

第一循環器内科部長 齋藤 高彦

数、そして自覚症状（浮腫や息切れ等）について記載できるようになっています。

うのはもちろんのこと、予後に影響する冠動脈疾患などの検査まで行っております。

患者様が自身がチェックし記載しますが、記載できない患者様の場合はご家族や訪問看護師さんなどに記載をお願いし、外来受診時に持参していただいています。心不全手帳をもとに、患者様は自分の体調を把握でき、また外来では医師や看護師が、バイタルサインの確認、自覚症状などを確認できます。体重が1週間に2〜3kg増えたときは、循環器外来へ連絡するようにお願いしています。電話で受診した方が良いかどうか相談する場合にも、心不全手帳を手元においてお話ししていただくとスムーズに進むと思います。

閉塞性動脈硬化症の治療は、血管外科でのバイパス手術が主流でしたが、近年内科による低侵襲なカテーテル治療の技術・デバイスが進歩しており、当科でも適切な症例に対し積極的にカテーテル治療を行っています。重症化すると、足趾などに潰瘍・壊疽を生じ、創傷処置を含めた対応が必要となる患者様も少なくありませんが、その場合は当院の形成外科・皮膚科と連携して対応にあたっています。

【循環器内科における足外来の取り組み】  
2018年度より「足外来」を開設しました。ここでは、閉塞性動脈硬化症が疑われる患者様に対し、その診断・治療を行

当科は総合病院に開設された循環器内科であるため、閉塞性動脈硬化症の診療に重要となる診断から合併症検索、治療まで行うことが可能です。2018年度から当院は道立北見病院と経営統合し、必要に応じて血管外科や形成外科などの診療科と迅速に連携することも可能でございますので、是非当科を窓口として閉塞性動脈硬化症が疑われる患者様をご紹介頂きたい存じます。現在、「足外来」は週1回月曜の開設としておりますが、進行の急速な足壊疽など、急な対応が必要な患者様は、通常の外来でも随時対応致しますので、曜日を問わずにご紹介下さい。

## JICA(独立行政法人国際協力機構)草の根技術協力事業 ブラジルSBC病院緩和ケア教育プロジェクト 事業概要と進捗報告

2018年1月より2年間『ブラジルSBC病院緩和ケアが、十分な症状マネジメントと情緒的サポートに重点を置いた質の高い緩和ケアを提供でき、SBC病院が緩和ケアを提供する医療機関として教育・実践でリーダー的役割を担うことのできる実践力を備えることができること』を、目標としてJICA 草の根技術協力事業を、当院の部川玲子（がん看護専門看護師）看護師長をプロジェクトリーダーとして、取り組んでおります。

現在までの活動としては、2018年4月に、部川師長、福島恵美子係長（認知症看護認定看護師）、赤川舞子（がん性疼痛看護認定看護師）看護師の3名でブラジルへ渡航し、当院でも毎年開催しているELNEC（エンド・オブ・ライフ・ケア）と認知症、老人看護の講義を行って来ました。

5月には、ブラジルとインターネットを使用してWEBカンファを開催し、現地での、問題点等を確認、アドバイスを行いました。

6月には、部川師長と安藤（緩和ケア病棟）師長がブラジルへ渡航し、デスカンファレンスの講義を行うとともに、4月渡航時の講義内容が実践に活かされているかの視察を行いました。

8月には、SBC病院緩和ケアのスタッフが来日し、視察などを行う予定です。その後も、月に一度の現地とのWEBカンファやブラジル市民へ対し緩和ケアを普及させるための講演会を行うなど、継続的に活動をしてまいります。

### 事業の背景と必要性

ブラジルは日本同様、2015年で7.84%の高齢化率で世界78位と高齢化社会を迎えている。また、日系移民の多く暮らす国で有り、高齢者の中には日本の習慣や文化を大切に継承している人も少なくない。高齢化社会においては、高齢者に多いがんや心疾患、認知障害を抱えながら地域で安心して暮らせる支援や、生活の質を高めgood deathをめざす緩和ケアが必要不可欠である。しかしブラジルでは緩和ケアの普及が遅れている現状と、国民に対する死の準備教育が不足しているため、患者・医療者ともに死生観が確立されていない。このような現状で、good deathを患者とともに医療者が考えること、差し迫った死という困難な問題に直面している患者・家族へのケアに取り組むことが求められている。患者自身が正しい情報に基づき、積極的治療中止や延命治療の中止も積極的治療と同様に選択肢となり得ることを理解していくことが必要となる。その上で、適切な症状緩和が行われ、緩和ケアを受けながらその人らしい死を患者・家族と医療者で作り上げていくことが重要である。（事業提案書要約より抜粋）

【がん対策推進室】

## 平成30年度 緩和ケア研修会 ELNEC-J開催日について

毎年当院で開催しております、緩和ケア研修会とELNEC-Jを今年も開催いたします。詳細に関しましては、決まり次第、郵送・HP掲載などでお知らせいたしますが、日程等の決定しているところのみお知らせいたします。受講をお考えの方は、ご参考にして頂ければ幸いです。

### 緩和ケア研修会(PEACE)

開催日：平成30年10月21日(日) 9:00~17:00予定  
8月中旬より案内、申し込み受付開始予定。

(当院ホームページ参照)

\*今まで2日間かけて開催しておりました研修会ですが、事前に座学の部分をe-learningで受講できるようになりました。グループワークなど、動きのある研修を当日、参加者の皆さんと一緒にを行います。

e-learningに関しては、研修会受講前に修了しておくことが必要です。

詳細、受講は日本緩和医療学会のホームページ [がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会](https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html)

e-learning PEACE

(<https://peace.study.jp/pcontents/top/1/index.html>) で、行えますので、アクセスして下さい。

### ELNEC-J(看護師対象 エンド・オブ・ライフ・ケアに関する研修会)

開催日：平成30年9月22日(土)23日(日)の2日間  
両日9:00~17:00頃予定

7月下旬より案内、申し込み受付開始。

(当院ホームページ参照)

\*例年人気の研修会です。今年は、講師に京都医科大学大学院医学研究科の田村恵子先生を講師の一人としてお招き開催いたします。定員30名で一施設2名までの申し込みとさせていただきます。

多くの施設の看護師さんにご参加いただき、顔の見える連携に繋がれば幸いです。

# 平成29年度 病院CS目標 評価

平成27年度よりスタッフ全員が同じ意識の元に業務ができるよう病院全体のCS目標を掲げ、日々取り組んでいただいております。3年が経過し、目標が浸透したのではないのでしょうか。

各部署で朝礼で読み上げる、CSニコニコの日に周知する、目標をラミネート加工し部署内へ掲示する等、様々な取り組みがされています。

昨年度は、投書台に設置している患者様アンケートの他に、部会員による患者様へのアンケートを直接行い、多くの評価をいただきました。結果を元に更なる取り組みを検討し、来年度へ繋げることができますよう、よろしくお願ひ致します。

- ### 病院CS目標
- 笑顔で明るい挨拶をする
  - 思いやりのある対応と丁寧な言葉使いをする
  - 清潔感のある身だしなみを保つ

- I. 実施日時：平成29年4月～平成30年3月
- II. 調査内容：上記病院CS目標に対する評価
- III. 回答方法：
  - ・患者様アンケートを投書台に設置し記入していただく
  - ・毎月25日にCS部会員より患者様へ直接アンケート用紙をお渡しし、記入いただく
- IV. 結果：回収枚数 531枚 (平成28年度 89枚)

## 北見赤十字病院 市民公開講座 “がん”について考える

### もっと知って欲しい！緩和ケア

皆さんの“緩和ケア”というイメージはどのようなものでしょうか。  
『緩和ケア＝もう長く生きられないのでは・・・』と考える人が多いのではないのでしょうか。  
そんなことはありません。緩和ケアは、がんと診断されたときから始まります。  
緩和ケアの事をもっと知って欲しい……。是非、ご聴講下さい。

講演1:『診断時からの緩和ケア』  
緩和ケア内科部長 木元 道雄

講演2:『がんとこころのケアについて』  
臨床心理係長 澤田 和美

講演3:『こんな時にはどうしよう？  
～いろいろな場面のいろいろな食事～』  
栄養課長 井田 亜希子

講演4:『自分らしく過ごす  
～リハビリテーションの取り組み～』  
理学療法士 大段 裕樹

【日時】平成30年8月28日(火)  
開場17時30分 開演18時00分～19時00分

【会場】北見赤十字病院北館1階ミントホール  
\*上靴、スリッパなどご持参下さい。

【申し込み、参加費】不要 (直接会場へお越し下さい。)

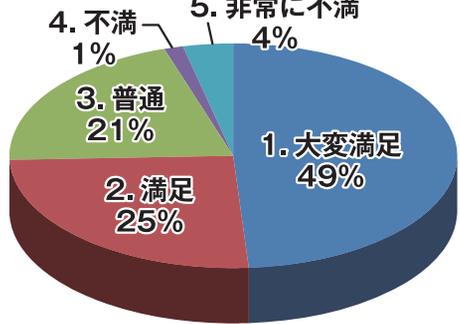
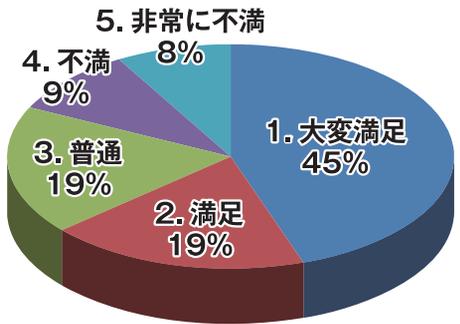
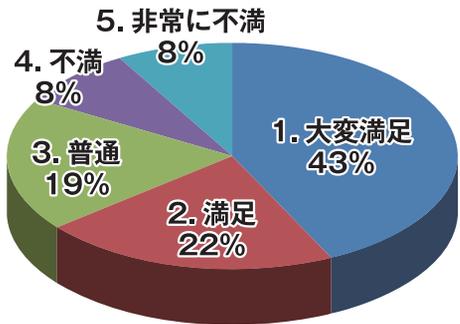
主催:北見赤十字病院 後援:北海道新聞北見支社  
【お問い合わせ】北見赤十字病院 がん対策推進室  
伊藤 TEL:0157-24-3115 内線2209

### 1 笑顔で明るい挨拶をする

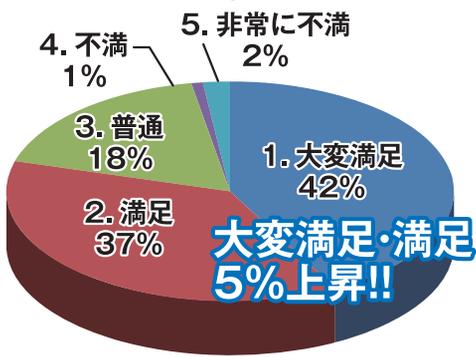
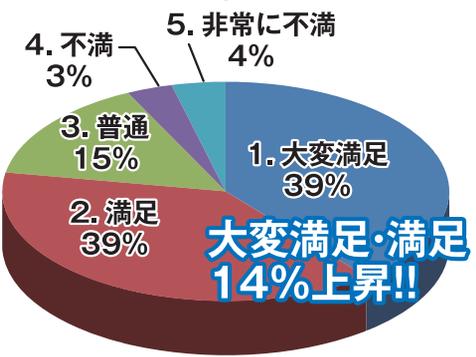
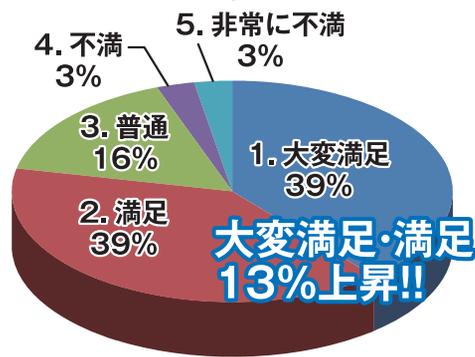
### 2 思いやりのある対応と丁寧な言葉遣いをする

### 3 清潔感のある身だしなみを保つ

平成28年度



平成29年度



### 患者様からいただいたご意見

- ・ みなさんありがとう
- ・ スタッフのみな様が大変親切で本当に快く退院させていただく事ができます。どうもありがとうございました。感謝です。
- ・ みんな優しいと思います。
- ・ みなさん親切にしてくださいありがとうございました。
- ・ 笑顔が少し足りない気がします。
- ・ 心配り、気遣いが少ないです。
- ・ みなさん忙しそうです。
- ・ 人によります。
- ・ 香水のキツイナースがいます。
- ・ 挨拶はすれ違って相手からしない。
- ・ 耳が遠いのでマスクをかけていると聞こえが悪い。
- ・ 人によって満足している人と挨拶もない人
- ・ もいます。若い看護師さんは割合優しい人多い。
- ・ 相手の顔も見ないで話す人多い。
- ・ 思いやりはない。
- ・ もう少し言葉遣いを直してほしい。
- ・ 笑顔で明るい挨拶をしていない。

CS委員会(CS部会)  
(サービス・接遇の向上を目的とした委員会)



内科医師  
横山 あい



内科医師  
木村 弘幸



内科医師  
桑原 咲



神経精神科医師  
柏木 智則



循環器内科医師  
甲谷 次郎



小児科医師  
平松 泰好



小児科医師  
大浦果寿美



小児科医師  
遠藤 愛



外科医師  
上村 志臣



外科医師  
石堂 敬太



整形外科医師  
奥原 一貴



形成外科医師  
齋藤 孝祐



脳神経外科医師  
藤川 征也



第二泌尿器科部長  
安住 誠



産婦人科医師  
金 美善



産婦人科医師  
柏木 葉月



頭頸部・耳鼻咽喉科医師  
河野 通久



麻酔科医師  
熱田 真穂



麻酔科医師  
棚橋振一郎



麻酔科医師  
横山 竜也



麻酔科医師  
西村 実夫



消化器内科医師  
齋藤 里佳



消化器内科医師  
青山 慶哉



緩和ケア内科部長  
木元 道雄



第一放射線科副部長  
中野 寛  
(30.7月～)



臨床研修医  
佐々木大輔



臨床研修医  
石川 真一



臨床研修医  
村川 直道



臨床研修医  
小川 弘記



臨床研修医  
夏山 知也



臨床研修医  
島野金太郎



臨床研修医  
鳶屋美寿季



臨床研修医  
中澤麻由奈



臨床研修医  
韓 昇熙



臨床研修医  
渡辺 麻由

## ～新しい医師を 紹介しま～す～

(平成30年4月～)

H30年度

### ●内科系3診療科オープンカンファレンス 症例検討内容

題名	発表者
第1回 「ACP アドバンス・ケア・プランニングについて」	循環器内科 齋藤 高彦
第2回 「急性E型肝炎患者急増の現状について」	消化器内科 佐藤 史幸
「ニューモシスチム肺炎を併発したAIDS症例」	内科・総合診療科 大谷恵隆 永嶋貴博
第3回 「全身性の紫斑で発症し、急激な転帰をたどったClostridium.perfringens感染症の1例」	内科・総合診療科 菅原 正成
「感染性心内膜炎に脳出血を合併した一例」	循環器内科 甲谷 次郎
第4回 「ヘパリンフラッシュによるヘパリン起因性血小板減少症の一例」	内科・総合診療科 野村 朝子
「急性腹痛で手術にいたった 二例」	消化器内科 上林 実

### ●開催予定日表

本館3階特別会議室  
午後18時30分～

第5回	平成30年 9月20日(木)	担当診療科 循環器内科 内科・総合診療科
第6回	平成30年 10月18日(木)	担当診療科 消化器内科 内科・総合診療科
第7回	平成30年 11月15日(木)	担当診療科 内科・総合診療科 循環器内科
第8回	平成31年 2月21日(木)	担当診療科 内科・総合診療科 消化器内科

### 『日本専門医機構認定 共通講習』 の開催について

平成30年度より新専門医制度が始まりましたが、専門医の更新に必要な講習のうち、日本専門医機構へ申請し、認定されたものは当院で開催した研修会等でも単位が取得できるようになりました。(医師のみ)

このことを受けて、当院では医療倫理・医療安全・感染対策の「共通講習」について基準を満たす研修については機構へ申請することとしております。

当院では、6月14日の医療安全研修、同月18日の感染対策研修について、機構より認定いただきましたので共通講習として開催いたしました。院内外から多くの医師の方にもご参加いただきました。

なお、認定された講習については、講習会(研修会)のすべての時間に参加した医師に、所定の受講証明書を発行することとなっております。(該当する先生には、後日郵送・配布いたします)

これまで、専門医の更新に必要な共通講習について遠方まで受講されていた先生方も多くいらっしゃったと思いますが、当院でも単位を取得することができるようになりましたので、今後も機構認定の共通講習開催について随時ご案内させていただきます。

平成30年6月15日

教育研修推進室 澁谷尚紀

# 外来のご案内

## 診療科目

- ★内科・総合診療科 (完全予約制)
- ★消化器内科 (完全予約制)
- 神経精神科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- ★整形外科
- 形成外科
- ★ペインクリニック内科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- ★泌尿器科 (完全予約制)
- 産婦人科
- ★眼科 (完全予約制)
- 頭頸部・耳鼻咽喉科
- ★放射線科
- 麻酔科
- ★歯科口腔外科

## 休診

- 土曜日 ●日曜日 ●祝日
- 12月29日～1月3日
- 5月1日(日本赤十字社創立記念日)

## 事前予約について

紹介状を持参される患者様につきましては、患者様の受診希望日時を事前にFAXにて予約診療のお申し込みいただきますと、診察当日、待ち時間が短縮されます。ぜひご利用願います。(但し、急患の場合は各科へ直接連絡願います。)

## 診察カード

診察券は全科共通で使用いたします。ご来院時に必ずお持ち下さい。

## 保険証

健康保険証はご来院時に確認させていただいております。特に、更新・変更の際は必ずご提出下さい。

**地域医療支援病院**

# 北見赤十字病院

【理 念】

人道・博愛に基づき、患者さまを尊重した医療を提供し、地域の期待と信頼に応えます。

【基本方針】

1. 真に患者本位の医療を提供する、質の高い病院を目指します。
2. 二次～三次の救急医療と高度医療の充実した病院を目指します。
3. 国内外やオホーツク地域の災害・救護医療を担います。
4. すべての職員が成長でき、働く満足度の高い病院を目指します。
5. 健全経営を行い、医療活動を通じて地域社会に還元します。

【患者さまの権利】

1. 人間としての尊厳が守られ、公平で良質な医療を受ける権利があります。
2. 理解・納得できる十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
3. ご自分の意思で診療を選択し決定する権利があります。
4. セカンドオピニオン(他の病院・医師の意見を聞く)を受ける権利があります。
5. プライバシーを保護される権利があります。

【患者さまの責務】

1. ご本人であることを確認するために、ご自分で名前をお伝え下さい。
2. アレルギー歴、病歴等について出来るだけ正確にお伝え下さい。
3. 医療スタッフの説明を良くお聞きになり、ご理解のうえ治療や検査などの医療行為をお受け下さい。
4. 病院内では秩序を保ち、他の患者さまのご迷惑にならない様に努めて下さい。
5. 医療費は速やかにお支払い下さい。
6. 当院は臨床研修病院として、卒前・卒後研修教育を担っています。医療専門職の育成にご理解・ご協力下さい。

# 北見赤十字病院 診療一覧表

\*都合により担当医が変更になる場合があります。

平成30年7月10日現在

診療科		月	火	水	木	金
内科・総合診療科	午前	永嶋	永嶋	吉田院長	永嶋	#北大血液内科
		栗田		栗田	栗田	藤原(泉田 古川)(月1)
		大谷	島田	大谷	菅原	島田
			吉田(知)	吉田(知)	吉田(知)	桑原
			横山			(昭和大出張医) (昭和大出張医)
	午後	島田(新患)	桑原(新患)	菅原(新患)	横山(新患)	大谷(新患)
		#血液内科連携予約	#血液内科連携予約		#血液内科連携予約	
			北大神経内科(月2度)			北大腎内(月1)
		#栗田		#栗田	#栗田	
		#リウマチ・膠原病の地域医療連携予約は栗田の月・水・木(午後)				
検査・処置・急病診療						
消化器内科・腫瘍内科	午前	青山	江平	岩永	江平	岩永
	午後	上林	佐藤	青山	上林	佐藤
循環器内科	午前		齋藤	齋藤(新患)	甲谷	齋藤(新患)
	午後		小野/徳原(新患)	本居	徳原	
神経精神科	午前	新患(再来)	早坂	嶋田	柏木	交代制(嶋田/早坂/柏木)
		再来	早坂	嶋田	嶋田	嶋田
	午後	柏木	早坂	伊藤	伊藤	柏木
小児科	午前	一般	佐藤	菅沼	佐藤	菅沼
		午後	菅沼	後藤	菅沼	予防接種(菅沼)
	午後	特殊	大浦	遠藤	菅沼	平松
外科	午前	新患	京極	新田	宮谷内	新関
	午後	再来	宮谷内	松永	新関	京極
整形外科	午前		#中川	松盛	水谷	中川
	午後		奥原(手術)	水谷(手術)	奥原(手術)	奥原(手術)
形成外科	午前	藤井(予約のみ)	手術	江平(予約のみ)	藤井	手術
	午後	江平	手術	藤井	手術	江平
脳神経外科	午前	新患(再来)	木村	三井	タッカー	藤川
	午後	再来	木村	鈴木	鈴木	高杉
皮膚科	午前		林	林	林	出張医
	午後		斉藤	手術/フットケア外来	斉藤	手術
泌尿器科	午前		藤井	藤井	藤井	藤井
	午後		安住	安住	安住	安住
産婦人科	午前	婦人科	水沼	根岸	水沼	根岸
	午後	産科	金	新関	金	新関
眼科	午前		齋藤	齋藤	齋藤	齋藤
	午後		出張医	出張医	出張医	出張医
頭頸部・耳鼻咽喉科	午前		和田	和田	石田	和田
	午後		石田	河野	河野	石田
放射線科	午前	新患	有本・山崎	有本	有本・山崎	山崎
	午後	再来	有本	有本・山崎	有本	有本・山崎
麻酔科	午前(術前診察)		横山	新田	棚橋	熱田
	午後		荒川			荒川
緩和ケア内科・腫瘍精神科	午前(予約制)		木元	島田		島田
	午後(予約制)			往診	木元	
歯科口腔外科	午前		辻	辻	辻	辻
	午後		阿部(手術)	阿部	阿部	阿部

# 北見赤十字病院 地域医療連携室

受付時間:月曜日～金曜日 午前8:30～午後5:00迄  
TEL0120-018-299 FAX0120-018-599

ご意見、ご要望がございましたら、地域医療連携室までお願いいたします。 E-mail:renkei@kitami.jrc.or.jp